

海洋祭の熱気溢れる活動の場から、 落ち着いたある学習の場に！！

9月中旬から10月中旬にかけて、海洋高校は静かな学習をする雰囲気劇的に変貌しました。3年生は就職・進学希望者の試験結果が続々と届いており、緊張感が伝わってきます。1・2年生は、中間試験に向けて取り組んだ学習が、答案が返却されることで、自らの取組の課題や成果への問いかけとなり、期末考査への糧にしようとしています。

さて、2学期の残されたこの時期には、猛暑に耐えて頑張った機に向かった強さとか、連休の誘惑に負けず地道に取り組んだ粘りなど、今年度の努力の結果が現れる時です。就職するにしても進学するにしても、学習成績が合否の重要なポイントになりますが、これからの一ヶ月ほどが、最後の正念場になると言っても過言ではありません。それぞれの生徒が2学期末を目指して努力をしてほしいものです。

ところで、ますます活性化し、躍動し続ける「海洋高校」は、授業日の落ち着いた学習雰囲気とは対照的に、土(日)曜日には様々取組を行い、地域で多様な人と触れ合いながら確実に内面を成長させています。その一部を紹介します。

《丹後文化祭典》

9月29日(土)・30日(日)に開催された、丹後高校文化祭典に本校も参加しました。丹後地域の全ての公立高校が参加し、各校の特徴や学習内容を紹介する中、本校はよさこい踊りを披露しました。1年生の文化祭の作品「魚の木彫り」を含めて他の展示にも多くの方に興味を持っていただいたようです。



よさこい踊り



マリンバイオ同好会の展示

《文部科学省指定 豊かな体験活動推進事業(栗田駅)》

「豊かな体験活動推進事業」の一環として、10月4日(木)栗田駅の花いっぱい運動に参加しました。栗田中学校や栗田小学校の生徒とともに、栗田駅の花壇を製作しました。腐葉土を混ぜた土作りやレンガ積みなど、一から花壇を作り、栗田駅を花一杯にしました。「小・中・高」が一緒に何かを取り組むことは今までになく、地元の学校として絆を深めることができました。

この取組は、10月5日(金)付け京都新聞及び読売新聞に掲載されました。



《中学生学校見学会》

10月6日(土)に「第1回見学会」が実施されました。日本海南部地区高等学校水産教育研究会生徒研究発表会で最優秀を獲得した発表の視聴(海洋科学科)・みずなぎ乗船(航海船舶コース)・水中脱出法(海洋技術コース)・トラフグ等栽培水槽見学(栽培環境コース)・お菓子作り(食品経済コース)の体験学習を行いました。来年度を受検校を決めるための、大切な体験だけに、どの生徒も真剣に取り組んでいました。本校の教師や補助員の生徒も真剣に取り組み、互いに真剣勝負の趣でしたが、その中にも和やかな雰囲気があり、とてもよい見学会ができたのではないかと思います。



《みんなでコラボ in 中丹》

10月13日(土)に福知山の川口中学校で開催された、「みんなでコラボ in 中丹」に丹後の学校として唯一本校が参加しました。学校紹介と製品販売で参加しましたが、販売が初めてとなった福知山でも本校の実習製品の評判は高く、会場で早くから「予約」をいただいたほどでした。販売時刻になると同時に、お客さんが列をつくり、販売開始後15分で全ての実習製品を完売しました。

また、展示コーナーでも本校の前で足を止める参加者は多く、本校への関心の高さを示すものとなりました。



《市場小学校 親子行事》

10月14日(日)に、与謝野町立市場小学校3年生の親子行事が本校を会場に行われました。小中高連携事業として、本校で親子事業を実施するのは今回初めてで、海洋高校を皆さんに活用していただくという点で、画期的な日となりました。小学生は魚のさばき方や金魚すくい・海藻押し花、みずなぎ乗船などを体験しました。お父さん・お母さんは我が子の包丁さばきに、微笑んだり不安な表情になったりしながらも、子供をしっかりリードしていただき、親子の絆を深めていただく、とても素晴らしい1日になりました。



《第2回小学生海づくり教室》



10月13日(土)に、府立高校サタデー広場活動事業として、第2回小学生海づくり教室が開催されました。本校の実習船「かいよう」を使って沖に出て船釣りを楽しみ、暫くして、桟橋でも釣っていただきました。糸を浸けるとアジが一杯かかっており、土曜日を家族一緒に楽しく過ごしていただきました。

10月21日(日) 中学生由良川サミットが舞鶴市民会館で行われました。本校の学校紹介用パネルや漁具等の実物を展示しました。時間的にも途切れることなく見学者がありました。

《人権講演会》

10月19日(金) 丸田光昭氏をお迎えして人権講演会が行われました。「私の生い立ちと同和問題」という演題でしたが、自分の子供が通う高校に行き、このような人権講演会を子供の前でする話のところでは、御自身でも声を詰まらせられたように、言いようのない複雑なお気持ちが伝わってきました。また、人間世界のどこに「人権問題」が潜んでいるのかを分かりやすく、具体的に話していただきました。



《国際教育講演会》

10月25日(木) 国際教育講演会が本校体育館で行われました。世界の子供たちの現実を知り、食糧問題・医療問題・国際問題を考えるきっかけにする目的で、日本国際飢餓対策機構総主事・清家弘久氏に御講演いただきました。

世界には、日本では考えられないような厳しい状況に置かれている人々(子供たち)がいる現実を知り、今、何が自分たちにできるのかを考える機会が得られた講演でした。

